



関西蔵前午餐会
2014年2月例会

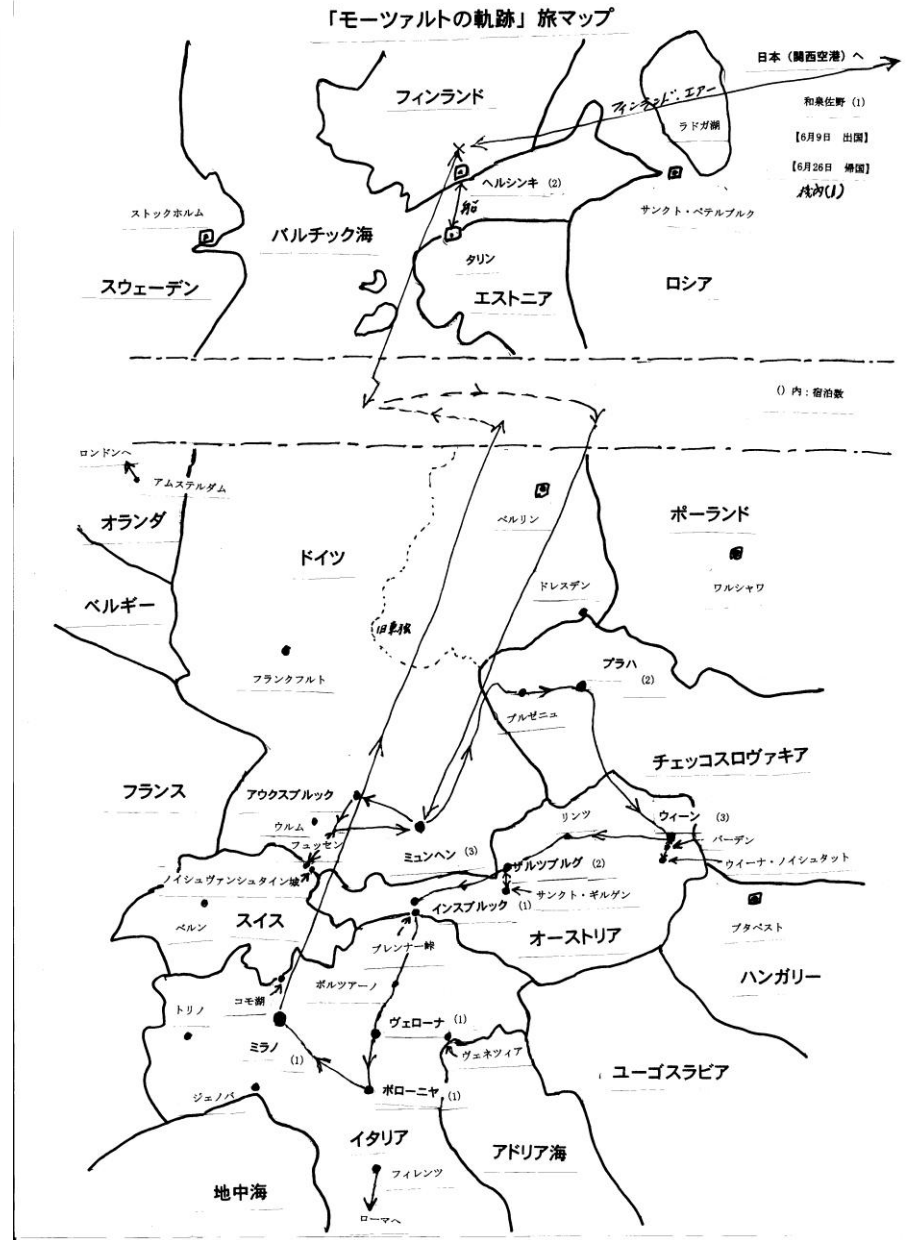
“モーツァルトの軌跡”
を訪ねて

昭和30年電気
古谷 昭雄

● 「男は **8の倍数**, 女は **7の倍数**が
厄年・要注意!」

- 昭雄:80才, 八重子:76才が6月に18泊の個人旅行
- 『厄年に無謀』に報い→帯状疱疹で2度の病院行き
- 参考:2013・9・21東京ドーム優勝決定戦で阿部捕手ダウン

【旅行ルート】



【旅行ルート】



関空

【旅行ルート】

- 関西空港ー(フィンランド・エアー)→ヘルシンキ→ミュンヘン
- (3泊)→《アウグスブルック, ノイスヴァン・シュタイン城》
- →プラハ(2泊)→ウィーン(3泊)→ザルツブルグ(1泊)
- →インスブルック(1泊)→ブレンナー峠→ヴェローナ(1泊)
- →ボローニア(1泊)→ミラノ(1泊)《最後の晚餐, スカラ座》
- →ヘルシンキ(2泊)《中世の町:エストニア・タリン》→
- (フィンランド・エアー(1泊))→関西空港

【旅行記録】

- URL http://homepage2.nifty.com/affe-furuya/mozart*htm
- * 001 第1部ドイツ・チェコ
- 002 第2部オーストリア
- 003 第3部 イタリアほか

1. モーツァルトの軌跡_その1

- (1) 2005・7・12 神戸フロイデ合唱団のテナー
 - モツレク(モーツァルトのレクイエム)を神戸文化ホールで歌う
- (2) 2005・9・10 愛知万博の“オーストリア館”を二人で訪門
 - モーツァルト生誕250周年行事:ウィーン, ザルツブルグ洗脳
- (3) 2006・2・28 モツレク出演(第2回)兵庫県立芸文センター
 - 演奏会テーマ:モーツァルトの軌跡をたどる
- (4) 2011・3・5 神戸クラシック音楽祭
 - モーツァルト像(神戸三宮東遊園地)建設20周年記念演奏会
 - 神戸市内のモーツァルト党(演奏者含む)一同に集う

続く

1. モーツァルトの軌跡_その2

- (5) 2011・7・28 モツレク出演(第3回)
 - 神戸国際会館・国際ホール
 - 神戸フロイデ設立60周年記念演奏会
- (6) 2011・8・11 垂水プロバスクラブ
 - 二十周年記念誌“ちどりⅡ”編集
 - 会員投稿文:鉛筆紀行 ★“モーツァルトの軌跡”を訪ねて”執筆
- (7) 2013・6・9～6・19 今回の旅行
 - (★ルフトハンザー→フィンランドエア)
- ★精神科医・神戸大学教授:中井久夫会員
(2013・10・25 文化勲章)のヒント
- 【謝辞】故・川崎直司先生(石川県薬剤師会会長)の名著
 - 「いつもモーツァルト:旅と病気とくすり」垂水プロバス藤井包子様より頂く

2. 「厄年に無謀」の報い

<<遂にダウン！大學病院に>>

- ザルツブルグ観光 38°C
- 中国人経営の日本料理屋
- 固い枝豆&生ビール
- 夜のコンサートなどで過労
- 八重子：神経痛で眠れず
- 海外旅行保険サポートへ
 - DOCOMO携帯で電話
 - 06-*** → +816***に

<<帯状疱疹でプライベート病院に>>

- 海外旅行保険サポート・イタリア
- ボローニヤ郊外のクリニック
- クリニカ・プライベート・ヴィレッジ
- 受付で受診拒否
- ムチャクチャ英語で怒鳴る
- 可愛い女医さん出現 OKとなる

インスブルックで



- 駅到着後すぐにインスブルック
大学付属病院に直行
 - インスブルック大学での検査結果を診せる
- 血液検査, X線診断, 心電図
身体の発疹をみて
 - 車椅子で痛み止めの点滴
 - 『ヘルペス(帯状疱疹)』と診断
- 総合診断結果→**無罪釈放**
 - ヘルペス特効薬の処方箋発行
 - ポローニアのクリニック・プライベート・ヴィレッジで診断後に女医さんと

後日談：日本に帰ってから

- 皮膚科に通って薬貰う
- 保険会社への医療費精算
 - ① ボローニャでは支払い済：
 - 領収書を送って銀行振り込みOK
 - ② インスブルック大学病院での診療代
 - 請求書が来て、保険会社から送金して貰う。(結構面倒臭い)
 - ③ インスブルック大学病院での検査費用
 - 請求書が送られて来る。
 - 可成り高額に驚く。
 - 血液検査の項目ごとに請求書あり。
 - GOT,GPT,CRP と血液検査の項目毎に4ユーロ(¥530)
- **忠告！**
 - 海外旅行では**無制限の旅行保険**に入っておくこと！

3. 二つの「モーツァルトの銅像」

- 神戸・三宮の東遊園地



1991年11月2日除幕式、神戸モーツァルト協会から神戸市に寄贈された。
オーストリアのゲロ・ジュパングルックの作。
樹の陰で目立たない。

- ウィーンのパルラト公園



公園のど真ん中にあるので良く目立つ。
ト記号の花壇を併設。
フランツ・ヨーゼフ皇帝像より立派。
記念写真のメッカ。

4. “楽友協会”二つの顔

～ ニューイヤ・コンサートお馴染み ～

- 【ウィーン・モーツァルト・コンサート】
- &
- 【日曜日のミサ曲演奏会】

4. “楽友協会”二つの顔

【ウィーン・モーツァルト・コンサート】

超満員，お祭り気分，賑やかな東洋系観客

モーツァルト時代の衣装に，茶色の鬘を

- K384 ドンジョバンニ 序曲&アリア
- K214 ヴァイオリンコンチェルト3番
 - D950 シューベルトノミサ曲
- K525 アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク
- K492 フィガロの結婚序曲&もう飛ぶまいぞ
- K550 交響曲40番 第一楽章
- K624 魔笛序曲&パパゲーナの二重唱
- 【アンコール】
 - 美しく青きドナウ
 - ラデッキー行進曲

4. “楽友協会”二つの顔

【日曜日のミサ曲演奏会】

クリスチャンの日曜礼拝ミサ演奏

男声 ウィーン少年合唱団

ベース:9人、ソプラノ:50人、アルト:9人、テナー:9人

- D753 シューベルトの未完成交響曲
- Kyrie
- Glorie
- Credo
- Sanctus
- 【クラシック愛好家の一言】
 - ウィーンは “何でもモーツァルト” だが
 - 本当のウィーンの音楽家は “シューベルトだ！”

5. 天真爛漫：神童モーツァルト

～ 生誕から思春期までの軌跡 ～

表1 モーツァルトの軌跡（前半期） 旅の遍歴と作品 -1/2

大旅行	西暦年	年齢	イベント or 好きな作品
	1756	0	1.27 ザルツブルグで誕生
	1761	6	ザルツブルグ→ミュンヘン→アウグスブルック（父レオポルド生家）
	1762	7	ウイーン・シェーン・ブルン宮殿で女帝マリア・テレジアとの出会い
第一回	1763	8	ヨーロッパ大旅行（ザルツブルグ→ミュンヘン→アウグスブルック→ウルム→ドイツ、オランダ、ロンドン、パリ→ミュンヘン→ザルツブルグ）
	1767	11	ザルツブルグ→ウイーン
第二回	1770	14	イタリア旅行第一回（ザルツブルグ→インスブルック→ヴェローナ）
第三回	1770	14	イタリア旅行第二回（ザルツブルグ→インスブルック→ポーロニア〔マルティーニ神父との出会い〕→ミラノ→フィレンチェ→ローマ→ナポリ）
			イタリア旅行第三回（ミラノ） ミラノのフェルディナント

表1. モーツァルトの軌跡（前半期） 続き-2/2

第四回	1772	16	イタリア旅行第三回（ミラノ） ミラノのフェルディナント大公への就職活動失敗する。 これが最後のイタリア旅行となる。
	1773	17	K 1 8 3 交響曲 2 5 番（ト短調） 作曲
	1776	20	K 2 2 0 雀のミサ作曲 トランペットを入れ大司教への反発開始
	1777	21	K 2 7 1 ピアノコンチェルト 9 番（ジェノーム） 作曲
	1778	22	ソプラノ歌手：ウェーバー・アロイージアとの恋愛騒動 母・アンナと一緒にバリ訪問。この旅先で母の死を。 K 2 9 9 フルートとハープの為の協奏曲 作曲
	1779 ～ 1781	23 ～ 25	K 3 1 7 戴冠式ミサ曲 作曲：ウィーンでの活動開始 ザルツブルグ、ウィーン、ミュンヘンを往復 K 3 6 6 オペラ「クレタ王イドメネオ」 作曲 K 4 5 7 ピアノソナタ 第14番 ハ短調 作曲 K 4 6 6 ピアノコンチェルト 2 0 番 二短調 作曲 アロイージアの妹：ウェーバー・コンスタンツェと婚約
			ザルツブルグの大司教に反発。 不興を買って、ウィーンに留まる。

生まれ育ったザルツブルグ



モーツァルトの生まれた家
この家の4階で生まれる

- ザルツブルグでの生誕，4回も欧州旅行，25才迄に70%の曲を作曲
- ザルツァツハリ河を挟んで
新市街と旧市街
 - **新市街**：ミラベラ庭園，モーツァルトの家，モーツァルテウム，カラヤン生家
 - **旧市街**：モーツァルト広場，モーツァルトの生家，ホーエンザルツブルグ城
- 1765年1月27日誕生
 - レオポルド―――アンナ
 - -----↓-----
 - 5人早死 ナンネルモーツァルト(姉)
- このモーツァルトの生家の2階で
K457 ピアノソナタハ短調の自筆楽譜を見る。1個所も訂正なし
- 1階ショップで、ピアニストGULDAの演奏CD（22曲入り）を購入する。

お父さん・レオポルドの生まれた街 ～ アウグスブルック ～

- ミューヘンから列車（ユーロパス使用）で30分
- アウグスブルック
 - 紀元前15年にローマ人によって造られた
 - **ドイツ最古の街**。観光には事欠かない。
 - **ドイツ・ロマンチック街道の中**の主要な街。
 - その終点には、避暑地：フッセンがあり、その先の**ノイシュヴァンシュタイン城**へ撮影に行く。
 - 途中、ウルムの街はモーツアルトの軌跡にとっては重要な所。（演奏したオルガンの教会あり
 - **【ユーロ・パス】**
 - ヨーロッパ中どこでも一等車（特急）に乗れるフリー・キップ。2ヶ月内8回使用券を購入。
 - 848EUR = 110,000¥ at 2人。
 - 最初の乗車駅でサイン要。特急乗車は別購入。

姉・弟の練習風景 ～ アウグスブルック ～



- 街の著名・ハープシコード製作者にその天才を認められる。

女帝に抱かれた モーツァルト 坊や



[ハプスブルック家の結婚式の油絵]

絵の作者は有名になった“モーツァルト坊や”を、時点が違うのに、わざわざ入れている

- ウィーンシェーンブルック宮殿「鏡の間」で
- 幼年時代の神童モーツァルトの最大逸話
- 7才のモーツァルトと姉・ナンネルを連れてレオポルドがウィーンに。
- オーストリアの女帝・マリア・テレジアの前で、クラブサン（チェンバロ）の演奏を。
- 演奏後の本人の弁
 - 陛下の膝に上がり首に手を回して額にキスをした。

ウィーン・シェーンブルック宮殿



イタリア旅行：

～音楽の天分に磨きを，そして失意の帰国に～



- **ブレナー峠**：モーツァルト狂の聖地
 - オーストリア～イタリア国境の峠：
標高1370m
 - 1769年12月20日インスブルックから馬車でイタリアへ。
この峠を**往復6回**越えている。
 - 本人の弁：お尻が**赤く腫れた！**
 - ヴェーローナ
 - 1770年1月5日イタリア最初の演奏会の成功
 - 1月7日、聖トマーズ教会でオルガン演奏会
 - 此処のオルガンに**モーツァルトのサイン**。
 - 現地に確かめに。
 - 感激した少女がホテルに花束を。
- ヴェローナのホテル：ドウエ・トリー：
14世紀の貴族の迎賓館を改造した**ホテルの入口の看板**
 - 1770年14才のモーツァルト宿泊

ボローニヤでの活躍

- **世界一古い**ボローニヤ大學で有名。
 - 1770年3月24日、この大學の当時
 - イタリアが誇る音楽会の最高権威者マルテジューニ神父に逢う。
 - 神父は、この少年の持っている天才と天真爛漫な人懐かしさに惚れ、対位法を伝授。
 - ボローニヤ楽友協会の会員に推挙して呉れる。
- ミラノでの成功
 - ミラノ訪問3回（1770年3月12日・10月18日、1772年秋）
 - 1～2回（14才～15才）：**華の歓迎**を受ける。
 - 1771年1月：アカデミア・フィルハモニカから
名誉楽長の称号を貰う。
 - 上演したオペラ、交響曲は**大成功！**

ミラノでの就活失敗

- フェルディナント大公（ウィーンの女帝：マリア・テレジアの息子）への就職活動**失敗！**
 - モーツァルト傷心
 - テレジア女王**反対の言葉**
 - 「**乞食のように**世の中を渡り歩いている人達を雇うことは、奉公人に悪影響を及ぼす」と。
 - 10年前の神童評価との余りの乖離に仰天。
- 私見
 - 当時、ウィーンの宮廷での音楽会は**イタリア音楽家が主流**を占めており、後発の天才少年に対する**妬みと警戒心**による“告げ口”から？
- ミラノの**スカル座**
 - **ヴェルデイ一色**
 - 小さなモーツァルト像が一つだけ
- 最後の晩餐
 - 現地ツアー参加：30分一組

思春期の安定と苦悩

～ザルツブルグ・パリー～

- ザルツブルグで**宮廷音楽楽員**として
 - 1年以上、父母や姉と。18歳となる。
 - しかし、永くは続かない。
 - 22歳にもなると雇い主：コロレド大司教との間に秋風が
 - 古いザルツブルグに飽きて…？
- パリーへ：**失意の旅**となる
 - マンハイム学派へのアプローチ失敗
 - 旅先のパリーで母・アンナ病死
- 恋愛騒動とその結末
 - アウグスブルックでのアンナ**失恋**
 - マンハイムでのローザ**失恋**
 - ウィーンでのソプラノ歌手：ウエーバ・での演奏会で聴いたアロイジャー（下宿屋の娘）との**大失恋**
 - **見返りに3女**：コンスタンツェと**婚約**

思春期の安定と苦悩_その2

～ザルツブルグ，パリー～

- その頃の作品
 - K271 ピアノコンチェルト9番（ジェノーム）
 - K299フルートとハープの為の協奏曲
 - K317 戴冠式ミサ曲オペラ・クレタ王イドメネオ
ミュンヘンで大好評
 - K466ピアノコンチェルト20
この第二楽章は映画アマデウスに、
カデンツァはベートーヴェンが作る。
- 今回の旅行ではミュンヘンでの演奏会で聴いた
 - ゼルキンと内田光子の演奏テープを持っている。
 - ザルツブルグのホテルで内田光子の写真を見る。

6. “モーツァルトの軌跡” 定番コースの外



[車窓から見た**ウィーン**の森]

- ウィーンの北の防衛拠点
- フリドリッヒ三世（1415～1496）が此の地に城，街，教会を作った。
- 教会玄関：1467 Kaifer Friedrich III 看板

- **ウィーナー・ノイシュタット**
 - **レクイエム初演の町**



[レクイエム初演の銘版]

- **ウィーンの北の防衛拠点**
- **修道院育ての親：エレートーレ王妃ポルトガルから嫁ぐ。此処を信仰拠点に修道院の中に埋められている。**
- **1793年12月14日 レクイエム初演**

6. 定番コースの外_その2

- 温泉保養地：**バーデン**
 - 神戸で言えば、有馬温泉の様な所
 - 宗教曲：K 618 アヴェ・ヴェルム・コルプス初演の町
- サントキルゲンと**氷河地方**



[ザルツカ・マーグート・ウ・ォルフガング湖]

- ザルツブルグの山岳地帯]: 湖20以上
- フッセエル湖, ウルフガング湖, モンデシー湖, モント湖、
岩塩鉱山: ハルスタットが有名
- ザルツカ・マーグート: 塩の領地
- 湖と山 (ツヴェルファーン・ホーン1522m) に囲まれたリゾート地

6. 定番コースの外_その3



- モーツァルトの泉
 - 水を吹出す鳥と少年：モーツァルト
 - モーツァルトの母・アンナの生誕地
 - モーツァルト一家のお墓と教会
- モーツァルト記念館
 - 母1720年12月誕生地
 - 外壁にナンネルの記念レリーフが
 - 湖と山（ツヴェルファーン・ホーン1522m）に囲まれたリゾート地
- サウンド・オブ・ミュージック
 - モント湖畔の結婚式挙げた教会，
 - **トラップ**家邸宅，モーツァルト小橋，ミラベラ庭園，ウンタースベルク山

7. モーツァルトに冷たかったウィーン-1/2

表2 モーツァルトの軌跡（後半期） 旅の遍歴と作品

大旅行	西暦年	年齢	イベント or 好きな作品
	1782	26	8.4 コンスタンツェとウィーン・聖シュテファン聖堂で 結婚式を挙げる
	1784	28	ウィーンでオペラ K492 「フィガロの結婚」 作曲
	1785	29	妻・コンスタンツェ バーデンで温泉療養を
	1786	30	ピアノコンチェルト 23番 K488 作曲 ピアノコンチェルト 24番 K491 作曲
	1787	31	父・レオポルド死亡（ザルツブルグで）享年68歳
第五回	1787	31	プラハ訪問（この年 2回も） K504 交響曲 38番 プラハ 作曲 K525 アイネ・クライネ・ナハトムジーク 作曲 K527 オペラ 「ドン・ジョバンニ」 作曲
第六回	1789	33	ベルリン旅行（ドレスデン, ベルリン, フランクフルト） ウルム, アウグスブルック, ミュンヘンへ ハイドン（59才）がウィーンを去る : 永遠の別れに K537 ピアノコンチェルト 26番 作曲

7. モーツァルトに冷たかったウィーン-2/2

第六回	1789	33	ベルリン旅行（ドレスデン、ベルリン、フランクフルト） ウルム、アウグスブルック、ミュンヘンへ ハイドン（59才）がウィーンを去る：永遠の別れに
	1790	34	K537 ピアノコンチェルト 26番 作曲 K550 交響曲 40番 ト短調 作曲 K551 交響曲 41番 ジュピター 作曲 K570 ピアノソナタ 変ロ長調 作曲 K571 六つのドイツ舞曲 作曲 K576 ピアノソナタ ニ長調 作曲 K622 クラリネット コンチェルト 作曲 K595 ピアノコンチェルト 27番 作曲 K618 アヴェ・ヴェルム・コルプス 作曲 K620 オペラ「魔笛」 作曲
	1791	35	K626 レクイエム作曲（8曲迄で中断） 12.5 死亡 晩年・冷たかったウィーン

鳥籠から放たれた小鳥 ～1782年 26歳春～30歳～

- ウィーンでの仕事
 - ピアノ教師，演奏家，作曲家～音楽の仕事は大丈夫？
 - 1784 (28才) k 492 オペラ「**フィガロの結婚**」：
名曲、庶民受け、貴族を馬鹿に
 - 1786 (30才) ピアノコンチェルト K488 23番，K491 24番：演奏会での定番曲
 - 予約演奏会：**毎回満席**→モーツァルト音楽様式確立の時代
- ウィーンでの最大の支持者・大膳職長官：アルコ伯爵の**予言**
 - 「モーツァルトがウィーンに来て**逆上せ上がっているが、**
 - ウィーンの人達は新しもの好き、**直ぐ飽きられて仕舞うだろう**」と。

鳥籠から放たれた小鳥_その2

- ウィーンでの仕事
- モーツァルトの**個人的な**ミスマッチ：**不運**
 - ①**愛妻・コンスタンツェ**が**悪妻**・派手で世帯切り盛り下手！
(合わせ過ぎ?)
バーデンで温泉療法→浮き名も立つ?
 - ②コーヒと寝酒、薬の飲み過ぎ、**鉛害中毒** (愛用のマジョリカ焼コーヒカップ)
 - ③ **父・レオポルド**の**死**：ザルツブルグで 68歳

最晩年のウィーンでは？

- 1791年12月5日（**35才**）**死亡**
 - ウィーンの人々に疎んじられて…
 - 1787年から遂に 予約演奏会での**予約一人**に
 - 1790年（34才）モーツァルトの最大**理解者**：**ハイドン**が英国に帰国
 - 逆に 隣国：プラハからのお誘いが…？
 - 皮肉：《最晩年（**34才～35才**）に**名曲集中**》売れなくても良い。**自分の好きなもの**を
次ページ参照！



マルクス墓地（共同墓地跡）
モーツァルト眠る里山ゼラニウム

最晩年のウィーンでは？その2

- 売れなくても良い。自分の好きなものを！
 - K537 ピアノコンチルト 26番
 - K550 交響曲 40番 ト短調
 - K551 交響曲 41番 ジュピター
 - K622 クラリネット コンチェルト
 - K595 ピアノ コンチェルト 27番
 - K618 宗教曲 アヴェ・ヴェルム・コルプス
 - K620 オペラ 魔笛
 - K626 レクイエム (8曲で中断：死亡)

「フィガロの結婚」を是非プラハで！

- ウィーンでの冷たい扱いに対する
反発
 - 覇権国**ドイツ**に対するボヘミア国民反発
- 31才を過ぎてから2度滞在：
 - 4回も…
 - K 504 交響曲 38番 プラハ
 - K 525 **アイネ・クライネ・ナハトムジーク**
 - K 525 オペラ「**ドン・ジョバンニ**」
 - 「自由万歳」への大合唱：
- 支配階級に対する反発：
 - モーツァルトを自由を賛美する**革命的英雄**として…
- モーツァルトの死を悲しんで追悼ミサを
 - 聖ニコラス教会で、ドゥーシェック夫人が追悼のソプラノを歌う。



- ザルツブルグ時代からの親友ドゥーシェック夫妻の別荘。
- 邸内には、オペラ：ドン・ジョバンニを上演した野外劇場がある。

8. プラハの思い出

～ ミューヘンからプラハ入り～

- 国境を越えてチェコに入る。
 - リッチな村から質素な村に。
 - プラハ駅で英語通じず難渋する。
 - チェコ・コロナ (K C) = 5円, 1 E U = 25 K C
- **プラハの春**
 - 1948 チェコ共産党クーデター, E U圏と格差出来る。
 - 1968 改革路線の発表に東欧5ヶ国が軍事介入。
血塗られたプラハの春。秘密警察主導。
 - 1989 市民大デモ→共産党政権崩壊
 - 1990 プラハ音楽祭：**スメタナの「わが祖国」**
- **プラハ国立歌劇団：オペラ“魔笛”の演奏**
 - 最晩年の傑作：大衆オペラと卑下。
 - “パパゲーナとパパゲーノの二重唱”
 - 名演出：底抜けて**明るく**、沢山の子ども踊る。
 - 2013年秋**大津のオペラ座**で来日公演。

プラハの思い出_その2

～ ミューヘンからプラハ入り～



- カレル大學合唱団
 - 2013年秋、神戸フロイデ合唱団亀井先生が
 - カレル大學合唱団とレクイエムをプラハの教会で。

- チェコ料理のカフェーでお母さんの誕生祝をするプラハ市民家族と一緒に。
- 自由謳歌のプラハ市民。

9. 映画：アマデウス_その1

- 1984年のアメリカ映画：
 - フォアマン監督と2人のアカデミ主演男優候補
 - モーツァルト役：エイグラム、
 - サリエリ役：トム・ハルス
- コメント
 - フィクションでモーツァルト像を歪める「許し難い演出！」
 - しかし、娯楽映画としては面白い
- 映画の組み立て
 - 同時代の音楽家：サリエリの対・モーツァルトに対する愛憎交差を
 - モーツァルトの天才をいち早く見抜き、羨望と妬みの一生を
 - モーツァルトを死に追いやり、自分も精神病院に
 - 晩年の追悼：牧師への懺悔を巧みに描いて、観客を引きつける

9. 映画：アマデウス_その2

- 映画アマデウスの嘘：

- モーツァルトはアル中→酒癖は悪くなかった
- サリエリが毒殺した→病死が正しい
- レクイエムをサリエリが口述譜面化→弟子のジャスマイヤが完成

- 映画アマデウスの本当

- 子供時代のモーツァルトは猿回しの猿→そういう見方もある？
- モーツァルトの遺体が麻袋に詰められ、白い石灰の粉を振りかけて深い穴に
- 今ウィーンは町中：モーツァルト：この事実を一番避けたがっている。

9. 映画：アマデウス_その3



[魔笛の小屋]

- 魔笛とレクイエムとの同時進行
 - モーツァルトは、大衆オペラ：魔笛を書きたかった。
 - コンスタンツェは、お金の貰えるレクイエムを切望す
 - 死に神からの作曲依頼を避けて、魔笛の小屋に逃げる。
 - 夜の女王：モデルは、妻の母のヒスがヒント

9. 映画:アマデウス_その4

NO5 Confutatis

The image shows a handwritten musical score for the piece 'NO5 Confutatis'. It is arranged in four staves: Tenor, Bass, Soprano, and Alto. The Tenor and Bass parts are in C major and common time. The lyrics for the Tenor part are 'Con-fu-ta-tis ma-le-dic-tis'. The lyrics for the Bass part are 'Con-fu-ta-tis ma-le-dic-tis'. The Soprano and Alto parts are in C major and common time. The lyrics for the Soprano part are 'to-ca-to-cum-be-ne'. The lyrics for the Alto part are 'to-ca-to-cum-be-ne'. The score is written in a cursive, handwritten style.

NO5 Confutatisの楽譜

- 協同作業によるレクイエム作曲
 - 妻・コンスタンツェが、バーディから馬車で、(バックの曲が下記)
 - 旦那の臨終には間に合う。
 - **共同墓地に投げ込まれ**牧師が十字を切る。
 - ラクリモーザの大合唱。 **アーメン!** が結び。

10. 最晩年のモーツァルト

～ウィーン市民の贖罪(照れ臭さ)～

- モーツァルト時代の音楽家の**社会的地位**
 - 音楽家が独立でやって行けるには時代が**早かった!**
 - 一人の芸術家が社会の尊敬を得て**生計**を立てて行ける様になったのは、彼の死後・**フランス革命の後**だった。
- 最晩年のサポート減：モーツァルト側の責任
 - 「**フィガロの結婚**」, 「**ドン・ジョバンニ**」
 - → **貴族を馬鹿**にした劇
 - フリーメンソン(秘密結社)への加入
 - → 貴族社会からの**乖離**
 - 彼の死の思想 → 世間の**キリスト教的な考え方**との**乖離**
- 死についての考え方
 - モーツァルト … 人生の真の目的
 - キリスト教 … 罪の報い, 神による罰

10. 最晩年のモーツァルト_その2

- ウィーンは音楽の聖地として
 - 世界中の音楽関係者，愛好者，団体客殺到！
 - 本当のモーツァルト党は不愉快！？
- 世の中の流れを作るもの
 - ① 政治の力
 - ② 経済の力
 - ③ 宗教の力
 - ④ 民族関
 - ⑤ 軍事力
 - ウィーンの本当の作曲家はウィーン生まれのシューベルト！
 - 何故、モーツァルトなのか？
 - モーツァルトの人気はベートヴェンを抜いて世界第一位
 - →これを利用しない手はない！

10. 最晩年のモーツァルト_その3

- モーツァルトの死とその埋葬についてのウィーン市民の贖罪
 - モーツァルトの遺体が**共同墓地に投げ込まれた**ことに対する世間の不評に対する**弁明**
 - →「あの頃の**法律**では、共同墓地に入れられる様決められていた。
 - 仕方がなかった！」と。
- 自分なりの解釈
 - ウィーンに行くと、**何処も彼処もモーツァルト!**
 - 高知市が、“坂本龍馬”を売り物にしていることと同じか？
 - 大きな作為的人気？
 - コンスタンツェは借金取りに囲まれて、お墓が作れなかったとか？

11. ららクラシック：交響曲40番 ト短長

(2013・11・4 NHK BS)

- モーツァルトの“人生のどん底”時の野心作：最高傑作
 - ① 家庭の不幸：お父さん・娘さんの死
 - ② トルコとの戦争など：社会環境の悪化
 - ③ 演奏会（ピアノコンチェルト）の急減：大幅な収入減
 - ④ 多額の借金を抱える
- 交響曲の革命
 - その当時の音楽会の標準パターン
 - ① 交響曲の第1楽章～第3楽章
 - ② ピアノコンチェルト・ピアノ独唱・歌曲などメイン
 - ③ 交響曲の第4楽章
 - 長調（明るい曲）→ 短調（暗い曲）
 - 独立の交響曲：芸術性の高い交響曲の創作
- 主旋律の登場とその変調・拡大
 - タララン・タラランが200回も
 - 第1楽章は大音スタートの常識を弱音のスタートに
 - 盛り上がる終曲

備考：MD用意して聴いて貰う。